

RPPC メールマガジン 第 841 号

リサイクルポート推進協議会（令和 2 年 9 月 23 日）

■事務局からのお知らせ

1) 令和 2 年度 第 1 回 循環資源利用促進部会

日時：10 月 8 日（木）14:00～

会場：みなと総合研究財団 3 階 会議室

開催方法：会場参加/Web（Webex）

2) 令和 2 年度 第 1 回 国際資源循環部会

日時：10 月 9 日（金）10:00～

会場：みなと総合研究財団 3 階 会議室

開催方法：会場参加/Web（Webex）

3) 令和 2 年度 リサイクルポートセミナー

日時：11 月 24 日（火）午後

会場：第一ホテル東京シーフォート・YouTube Live 配信併用

（専用アカウント発行）

令和 2 年度テーマ：「with コロナ・CO2 削減時代に リサイクルイノベーション」

※詳細につきましては改めてご案内致します。

■リサイクルポートに関連する最新の情報

1.石狩湾新港国際物流T、循環資源の輸出拠点として整備

北海道は、「令和 3 年度北海道開発予算等に関する要望」の中で石狩湾新港東港区の物流ターミナルの事業化を要望している。国際物流ターミナルとして水深 12m 岸壁延長 240 m を整備し、鉄スクラップを扱う循環資源の輸出拠点とし、高品質な鉄スクラップの輸送効率化を図る。

現況は岸壁延長・水深の不足により安全係留・満載輸送ができず、鉄スクラップ輸出量の増加に伴い岸壁の利用調整、ヤード不足などの課題がある。

港湾計画では現在、海面になった区域で水深 12m 岸壁と、その背後の埠頭用地 12.3ha を位

置付けている。岸壁と埠頭用地は直轄事業で整備し、そのさらに背後の区域は石狩湾新港管理組合が埋立造成する。

2.港湾局、ブルーカーボン検討会開催。オフセット制度試行等

国土交通省港湾局は9月15日、新たなCO₂吸収源として注目が高まっているブルーカーボン（沿岸域の藻場や浅場等に生息するアマモ等海洋植物にCO₂として取り込まれた炭素）の活用に向けた取組みを推進するため、「地球温暖化防止に貢献するブルーカーボンの役割に関する検討会（令和2年度第1回）（座長・佐々木淳東京大学大学院新領域創成科学研究科教授）」を開催した。ブルーカーボンのインベントリ作成に向けた検討、また国連の気候変動枠組条約に基づき我が国の温室効果ガス削減目標やCO₂吸収源対策等を示す「日本のNDC（国が決定する貢献）」にブルーカーボンを位置付けるための取組みを推進すること、ブルーカーボンのオフセット制度の創設に向け、今年度内を目途にモデル的な試行を行うこと等を確認した。

3.鹿島港、岸壁及び地耐力強化工事

関東地方整備局鹿島港湾・空港整備事務所は、今年度に事業化された鹿島外港地区国際物流ターミナル（マイナス12[㍓]）整備事業で岸壁及び地耐力強化の工事に着手する。洋上風力の基地港として整備する。

整備施設は水深12[㍓]岸壁延長200[㍓]と地耐力強化、水深12[㍓]航路・泊地3・8[㍓]、水深12[㍓]泊地1[㍓]。事業期間は令和2年度～5年度、事業費は47億円。

事業効果は地耐力強化によりプレアッセンブリ（仮組立て）が可能となり、「SEP船への部材積込量が増加。基地港湾～海上建設サイトの運航サイクル数が減少して海上輸送コストを削減。洋上風車設置箇所での風力発電設備荷役作業も効率化され、荷役コストが削減される、としている。

【港湾空港タイムス09月21日号から編集】

////////////////////////////////////

発行者：RPPC 広報部会

部会長：新谷 聡 りんかい日産建設（株）

部会員：山田 安彦 日本製鉄（株）

友歳 巖 五洋建設（株）

川田 延也 東京都

齋藤 憲雄 山形県リサイクルポート情報センター

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：押田、清水、安田

URL: <http://www.rppc.jp/> E-mail: rppc_jimukyoku@wave.or.jp

////////////////////////////////////

■会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡ください。開催案内等の情報をメルマガで配信致します。

■メルマガ配信先に変更がある場合、事務局までご連絡ください。

■メルマガに関するご意見、ご要望がありましたらご連絡ください